

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

猛暑続く中、稲刈・検査始まる

乾燥 調製 荷造り

最後まで気を抜かず商品である米を仕上げよう!

先月に続いて今月も、暑い暑いといわなければなりません。一体この猛暑と晴天続きはどうしたというのでしょうか。

県内全体としては、各地で雨も結構降っているようですが、当柏崎地域では台風がきた12日にわずかに降りましたが、14日に少しまとまった雨が降ったばかりです。天気予報では傘マークが出て降雨を期待するのですが、降ったためしがありません。知人の神主に「雨まつりをやってくれませんか」ともちかけたのですが、「効果がありすぎて降り止まなくなると困りますのでね」といわれてしまいました。事前に「謝儀」を渡さなかった為かも知れません。さて、いよいよ収穫期の本番を迎えました。生産者にとっては最も期待が膨らみ、楽しみな季節でしょう。今年も早期田植の越路早生の初検査が8月25日にJA柏崎のCEでおこなわれました。検査場所に出かけて状況を見てきました。すでに新聞報道でご存知のことと思われませんが、心配していたとおり高温障害による

と思われる、基部背白と乳心白などの未熟粒が多くて全体としては2等の品質でした。しかし、越路早生にしては粒の扁平なものやスジ深いものは少なく、粒の厚みがあつて日照量が多かつたことで充分な光合成がおこなわれたものと思われまふ。ただ、「反収は8俵位ですか」の問いに「8俵も獲れば万歳します」との返事でしたから、8月中に店頭と並べることができて、競争相手がないうちで売れるということだけでもそれ以上でもそれ以下でもないと思つてしまひました。温暖化傾向の時代に越路早生という品種を選択したところに根本的な間違いがあつたといえるでしょう。

まもなく、県内ではコシヒカリに次いで作付面積の多い、こしいぶぎの収穫最盛期を迎えます。こしいぶぎは比較的高温障害に強いといわれていますが、ぜひそうであつて欲しいと思ひます。山地の生産者からこれら稲刈りをするので乾燥・調製を頼むと言われて引き受けましたが、我が家でもまだ4〜5日先に刈り取りを予定していたくらいですから、相当青モミの多いものが搬入されました。水分確認のためにモミをむいてみると、青未熟粒は当然のことながら、基部背白もでていました。肥培管理や水管理のこともあつて、一概にはいえませんが「やつぱりお前もか」と思つてしまひました。早刈りの理由は「イノシシ」です。以前から柏崎の海岸地帯の一部に棲息していたのですが、最近では雪深い山間地まで住み着くようになって、収穫間近な水田に入られると踏み荒らされたり寝転がられたりして荒らされ、収穫できなくなつてしまふそうです。すでに一部がやられてしまつたので、自分の家の作業場の準備もせざるに大急ぎで刈り取りせざるを得なかつたというわけですね。

生物の多様性が問題になつていますが、個別のこととなるとなかなか難しいようです。しかし、特定の種が絶滅したり異常に増えてしまふのも、人間と自然界の付き合い方に何らかの問題があるからだと思います。総てが繋がつている中で、私たち人間が一番その影響力が大きいのですから、何よりも私たちの活動の中に問題があるのではないかと検証する必要がありますので、さて、ここまで来ると良かれ悪しかれ、米の収量と品質は決まつてしまつていきます。今後の刈り取り、乾燥、調製、そして計量や荷造りをいかにしっかりとこなうかだけです。少なくはなつていますが生モミの堆積による、ヤケ米の発生です。玄米では一見判りづらいたのですが白米にするとはつきりヤケ痕が残るため、乾燥機の容量に合わせた刈り取りをおこなうことです。

区画が大きくなつて田の均平ができずに除草剤の効果が発揮されず、ヒエが発生することがありますが、ヒエが玄米にまで入ることは滅多にありません。しかし、クサネムの種は玄米に比べて小さいにも関わらず、グレードで選別されずに玄米に混じつてしまひます。見つけ次第圃場で抜き取る以外ありません。意外と多いのがモミ混入と、逆の肌ずれです。どうしたら現在の糶摺機でこうしたものがなくなるらないのか、むしろ不思議なくらいです。目方でも往々にして問題が発生します。「自動」を過信しないことでしょう。以前は刺し米を抜いた後で紙袋の場合正味重量が、30kg確保されていれば良かったのですが、今は紙袋に皆掛け重量30.5kgとなつていますので、検査受付では皆掛け重量が重視されます。ただ、袋詰め後の保管場所によっては水分が蒸発して想像以上に目方が少なくなる場合がありますが、これは何とも悩ましいことです。

最後に荷造りとパレットへの積み込み方です。失礼な話ですが、生産者の皆さん個々の性格やクセが、こんなにもはつきりと出てしまふものはありません。大量の数をこなしておられる生産者の皆さんは、そんな丁寧な仕事をしていられないのも解りますが、検査証明印を押せないようでは困つてしまいます。いづれにしても、「商品である」とただけは常に意識していたものです。

野次馬ですが、今年の天候のように、こちらは内部だけで民主党の代表選挙で熱くなつていきます。国民の冷めた目で少し冷やしてやりたいような気がします。

忙しい時期ですが残暑の厳しい中、体調管理に留意して怪我のないように気を付けてほしいものです。

(内山常蔵記)

要確認！ 大変重要な連絡です

< 加工米生産者の皆様へ >



4月1日より国の方針で加工米の出荷が作況指数と連動方式に変わりました

例

出荷契約

100俵

10月15日
最終作況指数

102

出荷数

102俵

10月15日発表の作況指数で出荷数量が決定します。
そのため9月中に加工米をすべて出荷すると不足が出る場合があります。
不足を出さない為に、保有米を多めに取っておき、
最終作況指数が出た段階で調整できるように準備をお願いします。

不足した場合、減反未達成となるのでご注意ください

< 新規需要米生産者の皆様へ >



新規需要米の出荷について、確認をお願いします

1、新規需要米の田んぼで栽培した米はふるい下を含め、全量出荷

2 ふるい下を出荷せず、田んぼなどの肥料とする場合

- ① 新規需要米の台帳をつける
- ② 田んぼへ肥料としてまいた場合、
 - 一、台帳の記入
 - 二、農業作業日誌への記帳
 - 三、田んぼにまいた写真など証拠を記録

農政事務所から調査が入りますので、正確な記録 出荷をお願いします

< フレコン出荷の皆様へ >

出荷時の重量は

米重量のみで 1,028kg (17俵分)です

※検査余升は8kgです。量目不足は検査できません。

訂正

先月号「Agrisの農機メンテの部屋」に一部訂正がありました。

追記

春から施行されている、米トレーサビリティ法の関係で…

訂正

今秋から施行される、米トレーサビリティ法の関係で…